

— 総括表 —

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

(地域の現状)常盤台地域ケアプラザの各地区における共通の課題は、①地域ネットワークづくり「地域のつながり」の強化②子ども、高齢者、障がい者等の要援護者支援を含む住民同士の「見守り・支え合い」の推進③高齢者の健康寿命を延ばすとともに介護予防を推進する心と体の健康づくり④地域におけるボランティア等新たな「人材の発掘」⑤身近な地域で安心して過ごせる居場所づくり⑥認知症及び在宅で介護の必要な方や家族を支える取組み⑦医療・介護関係者の連携強化と相談対応の体制づくりなどがあげられます。

(今後の方向性)令和4年度末に相鉄・東急直通線の開業が予定されています。今年度も羽沢横浜国大駅の周辺地区におけるまちづくりを支援します。具体的には、①『羽沢横浜国大駅周辺地区バリアフリー基本構想』の策定。②『羽沢横浜国大駅周辺地域の愛着を育てるサインづくり推進会』によるまちづくりプランの推進。③横浜国立大学ワークショップを基軸にした取組み。以上3つの取組みについて、駅周辺エリアの自治会町内会・横浜国立大学・行政・常盤台地域ケアプラザに加えて鉄道会社や地権者、地域の学校関係者とも相談しながら同時並行的にすすめていきます。

今年度の重点的な取組

新規	継続	—具体的な取組内容—
■	<input type="checkbox"/>	○今年度よりリニューアル発足した「羽沢横国まちづくり協議会」の事務局として、協議会の運営や調整等の支援を行っていく。 ○ケアプラザで発行しているきらりシニアマップや広報紙を活用し、活動グループの支援を行っていく。
■	<input type="checkbox"/>	○地域ケアプラザに定期的集えるよう居場所づくりを目的に「サロンドウきらめき」を2回/月新規開催する。
■	<input type="checkbox"/>	○峰沢団地中心にチームオレンジモデル事業を展開し認知症の理解者を増やす。 ○学校や地域の方に加えて、来館される子育て世代にも認知症サポーター養成講座を開催し、認知症を理解できるメンバーを増やしていく。
<input type="checkbox"/>	■	○「多世代へのアプローチ事業」としてPi-Po-WAN(ピーポーワン)、Pi-Po-MaMa(ピーポーママ)を開催し多様な世代が地域づくりに参加していただくきっかけにする
■	<input type="checkbox"/>	○「きらりシニアマップ」をより広く周知できるよう工夫する。AyamuのWEB公開に向けて、団体との関わりを継続し、得た情報は区カンファレンス等で共有していく。

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

今年度から名称変更した「羽沢横国まちづくり協議会」では、従来のサインづくりのみにとどまらず、地域住民へのアンケートを実施して幅広い世代からの意見を募った。その結果、記述意見が非常に多数寄せられて今後の方向性を決めていく貴重な資料とするとともに、地域住民の関心の高さが伺えた。新規事業の「サロンドウきらめき」は参加者が定着しており、参加者にとっての憩いの場となっている。今年度重点事業であるチームオレンジ事業は対象地域の住民の意識が徐々に変化しており、取組みの必要性を前向きに受け止めていただいた。横浜国大とのワークショップを通じて、地域の小中学校や病院との多世代交流が盛んになったことで、地域全体の活性化につながった。

区からのコメント

羽沢横浜国大駅の開業にも後押しを受け、地域における多世代交流がここ数年で一段と活発化している印象です。ケアプラザとしても事業展開や活動団体へのヒアリング、アンケートの実施等で地域ニーズの変化を察知し、多世代対応に向けた支援体制の充実化に努めていただいています。

また、今年度より開始した「チームオレンジ事業」を通じて、地域における認知症への理解者を増やし、認知症の方が安心して暮らせる街づくりを推し進めて頂きました。

引き続き、第4期地域福祉保健計画の区計画、地区別計画を意識し、地域におけるほっとなまちづくりの推進を支援していただきたいと思います。

# 令和4年度横浜市常盤台地域ケアプラザ事業報告書(施設運営、介護保険事業)

## 1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について (事故防止、個人情報保護等)
取組計画	事業者選定にあたっては、ホームページなどを活用して複数事業者を提示したうえでご利用者様・ご家族様に事業者を選択していただくプロセスを徹底していきます。また、支援に際して毎月のカンファレンスや日常業務での区役所とのやり取りを通じてきめ細かく情報共有を行い、支援方針についても緊密に連携しながら実務にあたります。利用者アンケートを通じて意見聴取し、業務改善につなげます。	前年度はコンプライアンス関連でファックス誤送信など事故・苦情が発生しており、今後同様の事故・苦情案件を繰り返さないように対応していきます。過去に起きた事例の教訓を生かして、広報誌のイラスト及び記事内容チェック、PCセキュリティのウイルス対策強化、研修等による苦情対応の強化等について引き続き具体的に取り組んでまいります。
実績	事業者選定にあたっては、ご利用者様・ご家族様に事業者を選択していただくプロセスを徹底しました。しかしながら、ケアプラン委託先の居宅介護支援事業者が減少傾向で徐々に選択が困難になってきています。利用者アンケートによる業務改善も実施しました。	コンプライアンス関連を含めて重大事故は発生しませんでした。ヒヤリハット事例等は引き続き情報共有しています。

## 2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	要介護認定で「要支援1」「要支援2」と認定された方々への介護予防プランを作成する。引き続き自立支援が図れるような目標設定をして、介護予防プランの作成を行う。	居宅サービス計画の作成にあたっては、利用者の心身の状況、その置かれている環境等に応じて、ご利用者様が自立した日常生活を営むことができることを目標とします。 地域包括支援センターと連携し、退院ケースや支援困難ケースに迅速に対応していきます。
利用料金・実費負担	自己負担なし(全額保険給付)	自己負担なし(全額保険給付)
職員体制	管理者 1名(常勤兼務) 保健師等 2名(常勤兼務) 社会福祉士 1名(常勤兼務) 主任介護支援専門員 1名(常勤兼務)	管理者 1名(常勤兼務) 介護支援専門員 3名(常勤専従)
契約者数	14(委託243)	93

令和4年度「横浜市常盤台地域ケアプラザ」  
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
<b>指定管理料</b>	16,225,416	220,000	16,445,416	16,445,416	0	横浜市より
<b>自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）</b>	0	0	0	245,136	△ 245,136	
<b>横浜市による運営支援</b>	0	234,000	234,000	234,000	0	物価高騰の影響を踏まえた横浜市による運営支援
<b>雑入</b>	0	0	0	0	0	
印刷代	0	0	0	0	0	
自動販売機手数料	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	
<b>その他</b>	0	0	0	0	0	
<b>収入合計</b>	16,225,416	454,000	16,679,416	16,924,552	△ 245,136	

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
<b>人件費</b>	11,159,637	0	11,159,637	9,433,315	1,726,322	
本俸	7,200,000	0	7,200,000	7,185,004	14,996	
社会保険料	930,000	0	930,000	673,042	256,958	
手当計	2,874,637	0	2,874,637	1,430,523	1,444,114	
健康診断費	50,000	0	50,000	48,950	1,050	
勤労者福祉共済掛金	0	0	0	0	0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	99,000	0	99,000	90,233	8,767	
その他	6,000	0	6,000	5,563	437	
<b>事務費</b>	1,347,000	0	1,347,000	1,432,647	△ 85,647	
旅費	8,000	0	8,000	9,109	△ 1,109	
消耗品費	330,000	0	330,000	338,472	△ 8,472	
会議ठीい費	0	0	0	0	0	
印刷製本費	65,000	0	65,000	54,451	10,549	
通信費	270,000	0	270,000	239,882	30,118	
使用料及び賃借料	0	0	0	5,280	△ 5,280	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	0	0	0	5,280	△ 5,280	
その他	0	0	0	0	0	
備品購入費	0	0	0	0	0	
図書購入費	0	0	0	0	0	
施設賠償責任保険	0	0	0	0	0	
職員等研修費	15,000	0	15,000	5,001	9,999	
振込手数料	71,000	0	71,000	64,396	6,604	
リース料	0	0	0	9,108	△ 9,108	
手数料	0	0	0	0	0	
地域協力費	0	0	0	0	0	
その他	588,000	0	588,000	706,948	△ 118,948	
<b>事業費</b>	737,008	0	737,008	607,913	129,095	
運営協議会経費	42,000	0	42,000	38,962	3,038	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）	695,008	0	695,008	568,951	126,057	
その他	0	0	0	0	0	
<b>I C T整備費（追加）</b>	0	200,000	200,000	200,000	0	
I C T整備費（追加）	0	200,000	200,000	200,000	0	
<b>オンライン相談機器整備費（追加）</b>	0	0	0	0	0	
オンライン相談機器整備費（追加）（モデル実施対象施設）	0	0	0	0	0	
<b>サニタリーボックス（追加）</b>	0	20,000	20,000	12,194	7,806	
サニタリーボックス	0	20,000	20,000	12,194	7,806	
<b>管理費</b>	1,615,000	0	1,615,000	2,099,885	△ 484,885	
光熱水費	695,000	0	695,000	919,529	△ 224,529	
清掃費	340,000	0	340,000	337,212	2,788	
機械警備費	84,000	0	84,000	83,762	238	
設備保全費	406,000	0	406,000	404,568	1,432	
空調衛生設備保守	147,000	0	147,000	146,433	567	
消防設備保守	28,000	0	28,000	27,920	80	
電気設備保守	0	0	0	0	0	
害虫駆除清掃保守	18,000	0	18,000	17,373	627	
駐車場設備保全費	0	0	0	0	0	
その他保全費	213,000	0	213,000	212,842	158	
共益費	0	0	0	0	0	
その他	90,000	0	90,000	354,814	△ 264,814	
<b>修繕費</b>	474,000	0	474,000	109,456	364,544	
<b>公租公課</b>	892,771	0	892,771	943,331	△ 50,560	
事業所税	0	0	0	0	0	
消費税	892,771	0	892,771	943,331	△ 50,560	
印紙税	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	
<b>その他</b>	0	0	0	0	0	
<b>支出合計</b>	16,225,416	220,000	16,445,416	14,838,741	1,606,675	
<b>差引</b>	0	234,000	234,000	2,085,811	△ 1,851,811	

自主事業費 収入	0	0	0	245,136	△ 245,136	
自主事業費 支出	695,008	0	695,008	568,951	126,057	
自主事業 収支	△ 695,008	0	△ 695,008	△ 323,815	△ 371,193	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	5,280	△ 5,280	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	△ 5,280	5,280	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和4年度「横浜市常盤台地域ケアプラザ」  
収支予算書及び報告書（一般会計）＜包括・介護予防・生活支援・チームオレンジ＞

収入の部 (単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	27,819,920	0	27,819,920	27,819,920	0	横浜市より
指定管理料【介護予防】	154,000	0	154,000	154,000	0	横浜市より
指定管理料【生活支援】	5,793,034	0	5,793,034	5,793,034	0	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】	0	0	0	1,900	△ 1,900	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	0	0	0	19,200	△ 19,200	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	0	0	0	93,500	△ 93,500	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【チームオレンジ】	0	300,000	300,000	0	300,000	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代	0	0	0	0	0	
自動販売機手数料	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	
収入合計	33,766,954	300,000	34,066,954	33,881,554	185,400	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
<b>人件費</b>	<b>30,084,991</b>	<b>0</b>	<b>30,084,991</b>	<b>28,887,350</b>	<b>1,197,641</b>	
本俸	16,573,745	0	16,573,745	16,152,172	421,573	
社会保険料	3,843,200	0	3,843,200	3,711,100	132,100	
手当計	9,098,046	0	9,098,046	8,504,599	593,447	
健康診断費	30,000	0	30,000	20,625	9,375	
勤労者福祉共済掛金	0	0	0	0	0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	510,000	0	510,000	482,167	27,833	
その他	30,000	0	30,000	16,687	13,313	
<b>事務費</b>	<b>1,900,000</b>	<b>0</b>	<b>1,900,000</b>	<b>1,583,575</b>	<b>316,425</b>	
旅費	25,000	0	25,000	35,115	△ 10,115	
消耗品費	110,000	0	110,000	141,596	△ 31,596	
会議賄い費	0	0	0	0	0	
印刷製本費	80,000	0	80,000	79,872	128	
通信費	425,000	0	425,000	374,123	50,877	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	
備品購入費	0	0	0	0	0	
図書購入費	0	0	0	0	0	
施設賠償責任保険	0	0	0	0	0	
職員等研修費	30,000	0	30,000	87,365	△ 57,365	
振込手数料	67,000	0	67,000	55,532	11,468	
リース料	0	0	0	9,108	△ 9,108	
手数料	0	0	0	0	0	
地域協力費	0	0	0	0	0	
その他	1,163,000	0	1,163,000	800,864	362,136	
<b>事業費</b>	<b>1,245,963</b>	<b>300,000</b>	<b>1,545,963</b>	<b>840,099</b>	<b>705,864</b>	
協力医	630,000	0	630,000	105,000	525,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	146,963	0	146,963	36,754	110,209	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	154,000	0	154,000	174,239	△ 20,239	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	315,000	0	315,000	292,330	22,670	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【チームオレンジ】	0	300,000	300,000	231,776	68,224	
その他	0	0	0	0	0	
<b>管理費</b>	<b>410,000</b>	<b>0</b>	<b>410,000</b>	<b>929,333</b>	<b>△ 519,333</b>	
光熱水費	193,000	0	193,000	244,431	△ 51,431	
清掃費	90,000	0	90,000	89,638	362	
機械警備費	23,000	0	23,000	22,265	735	
設備保全費	54,000	0	54,000	107,540	△ 53,540	
空調衛生設備保守	39,000	0	39,000	38,925	75	
消防設備保守	10,000	0	10,000	7,421	2,579	
電気設備保守	0	0	0	0	0	
害虫駆除清掃保守	5,000	0	5,000	4,617	383	
駐車場設備保全費	0	0	0	0	0	
その他保全費	0	0	0	56,577	△ 56,577	
共益費	0	0	0	0	0	
その他	50,000	0	50,000	465,459	△ 415,459	
<b>修繕費</b>	<b>126,000</b>	<b>0</b>	<b>126,000</b>	<b>29,094</b>	<b>96,906</b>	
<b>公租公課</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
事業所税	0	0	0	0	0	
消費税	0	0	0	0	0	
印紙税	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	
<b>その他</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
<b>支出合計</b>	<b>33,766,954</b>	<b>300,000</b>	<b>34,066,954</b>	<b>32,269,451</b>	<b>1,797,503</b>	
<b>差引</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>1,612,103</b>	<b>△ 1,612,103</b>	

自主事業費 収入	0	300,000	300,000	114,600	185,400	
自主事業費 支出	615,963	300,000	915,963	735,099	180,864	
自主事業 収支	△ 615,963	0	△ 615,963	△ 620,499	4,536	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和4年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名:横浜市常盤台地域ケアプラザ

(単位:千円)

	科目	第1号介護予防支援・介護予防支援			居宅介護支援			通所介護・第1号通所介護			認知症対応型通所介護						
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	
収入	介護保険収入	3,368	2,369	999	21,305	19,272	2,033	72,774	57,021	15,753	14,671	7,767	6,904				0
	その他	0	6	-6	340	398	-58	8,282	8,517	-235	744	404	340	0	0		0
	事業・負担金収入	0	0	0	0	0	0	5,904	4,706	1,198	744	404	340				0
	認定調査委託料	0	0	0	340	380	-40	0	0	0	0	0	0				0
	借入金利息補助	0	0	0	0	0	0	128	128	0	0	0	0				0
	借入金償還補助	0	0	0	0	0	0	2,250	2,250	0	0	0	0				0
	その他	0	6	-6	0	18	-18	0	1,433	-1,433	0	0	0				0
	収入合計(A)	3,368	2,375	993	21,645	19,670	1,975	81,056	65,538	15,518	15,415	8,171	7,244	0	0		0
支出	人件費	1,500	1,110	390	18,375	18,070	305	54,220	53,794	426	10,229	8,824	1,405				0
	事務費	120	18	102	1,148	1,127	21	5,286	1,898	3,388	921	416	505				0
	事業費	0	0	0	0	0	0	4,195	6,727	-2,532	1,015	1,339	-324				0
	管理費	193	192	1	912	694	218	8,307	8,299	8	3,240	2,989	251				0
	その他	1,000	0	1,000	10	47	-37	7,148	5,624	1,524	10	0	10	0	0		0
	利用者負担軽減額	0	0	0	0	0	0	20	0	20	10	0	10				0
	消費税	0	0	0	10	47	-37	0	0	0	0	0	0				0
	介護予防プラン委託料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				0
	支払利息	0	0	0	0	0	0	128	128	0	0	0	0				0
	拠点区分間繰入金	1,000	0	1,000	0	0	0	4,000	2,496	1,504	0	0	0				0
	借入金償還支出	0	0	0	0	0	0	3,000	3,000	0	0	0	0				0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				0	
支出合計(B)	2,813	1,320	1,493	20,445	19,938	507	79,156	76,342	2,814	15,415	13,568	1,847	0	0		0	
収支 (A)-(B)	555	1,055	-500	1,200	-268	1,468	1,900	-10,804	12,704	0	-5,397	5,397	0	0		0	

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

令和4年度 自主事業報告書

<b>■ 事業</b> 1：地域活動交流事業    2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業    4：共催（1と2）    5：共催（1と3） 6：共催（2と3）    7：共催（1と2と3）		<b>■ 事業の性質</b> 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業		<b>■ 主な対象者、従たる対象者</b> 1：高齢者    2：障害児・者    3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年    5：地域    6：事業者 7：その他	
---	--	---	--	--	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
1	ときわの森子育て広場	平成21年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	親子のふれあいの場、親子同士の交流の場。ケアプラザに来てもらう事で子育てに関する情報交換ができる事や相談の場である事などを知ってもらう。	3:養育者及び乳幼児		4月手形アート作りと認知症の理解「ママが活躍、地域の見守り」5月音とリズム遊びとハーバリウム作り6月音楽に合わせて楽しく踊ろう8月わくわくお話し会と夏祭り9月音楽に合わせて楽しく踊ろう10月ハロウィンパーティー11月パラバルーンで遊ぼうとお医者様のお話1月わくわくお話し会とおやつのお話し2月ミニコンサート3月ヒーローに変身しちゃおう！と子育てサポートシステム説明会。	10	131
2	ときわの森らくらくストレッチ体操教室	平成22年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	主に高齢者を中心とした体操教室。健康維持、転倒予防を目的とする。	1:高齢者		無理なく、安全に椅子に座ってストレッチを行う。講師の楽しい会話を交えながら、わかりやすい動作を行う体操教室。4月、5月、6月、7月、9月、10月、11月、令和4年1月、2月、3月に開催した。	9	131
3	ときわの森美と健康体操	平成31年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	美しい姿勢を保つためのストレッチや心身ともに健康になるための体操を行う。健康な日常生活を送れることを目的とする。	5:地域		体幹トレーニング・筋力アップストレッチ・骨盤調整・姿勢分析などを少しずつ取り入れて、新しい講師により美しい姿勢を保つ事を意識しながら行う。原則毎月第1・3水曜日開催した。	22	235
4	ときわの森和菓子&パン教室	平成24年	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	比較的若い世代の方々に参加してもらう事を目的として、イベントなどで活躍できる調理ボランティアの発掘につなげていく。	5:地域		6月和菓子の水無月、12月はクリスマスのパンシュトーレンを作成した。	2	18
5	ときわの森音と音楽で遊ぼう	平成23年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	障がいを持っているお子さんと親同士の放課後支援。音楽を通じて交流を図る。	2:障害児・者		音楽療法のできる講師を招いて、発達の統合調整を行う。原則毎月第1水曜日開催した(5月は休み)	10	72
6	園芸ボランティア活動	平成23年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	ケアプラザ・コミュニティハウスの共通部分である施設内及び周辺の整備をしていく事で、きれいな環境維持とボランティアの活動の場、発掘の場につなげていく。	5:地域		2階の共有部分の中庭や花壇の整備をボランティアが中心となって季節の花などをみどりの協会より定期的に購入して植え付けていく。原則毎月第3月曜日に開催した。	11	55
7	ときわの森おもちゃ病院	平成30年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	ボランティアのおもちゃドクターの協力により壊れたおもちゃを修理して、再び使えるようになることで「物を大切に作る心」を伝えていく。	5:地域		壊れたおもちゃを持ってきてもらい、地域のボランティアに修理してもらう。原則毎月第2土曜日開催した。	11	35
8	幼稚園ママに幼稚園のこと聞いちゃおう!	令和元年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	入園前の子どもの保護者対象に幼稚園に関する情報を現在通わせている母親から情報をもらい、入園の目安にしてもらう。	3:養育者及び乳幼児		子育て支援拠点こっころの協力を得て、幼稚園のホームページや説明会ではわからない事を経験者の生の声を直接聞いて入園時の参考にしていく。6月開催した。	1	18
9	子どもクッキング	令和元年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	子ども同士一緒に調理することで、調理する事の楽しさを感じ取ってもらう。コミュニティハウスの寺子屋事業の一環とすることで、多くの小学生参加者が見込まれる。	4:子ども・青少年		小学3年～6年生を対象に短時間で簡単に調理できるものを体験して交流を図る予定だったが中止となった。	0	0
10	ときわの森子育て広場サマーパーティー	令和元年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	親子同士の交流の場。遊びながら情報交換などが楽しくできる場の提供を目的とする。	3:養育者及び乳幼児		ケアプラザの外庭で水遊びとして、噴水シャワー、魚釣り・シャボン玉・水でつぼろ・バケツに水をはっての遊びなどを7月に2回行った。	2	29
11	利用者発表会 & 作品展	令和3年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	ケアプラザ・コミュニティハウスとの共催でイベントを開催することで、地域住民とのつながりを深める。	5:地域		利用団体の発表会と作品展をケアプラザとコミュニティハウスと共催で10月に開催した。	1	150
12	ときわの森親子で楽しむクリスマス会	平成23年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	親子同士で音楽を通じたクリスマス会を開催し交流を図る。	3:養育者及び乳幼児		クリスマスにちなんだ内容を企画して楽しんでもらう。ボランティアがクリスマスの飾り付けをし、ケアプラザ職員がサンタクロースに扮して、手作りのプレゼントを子どもに渡す内容で12月に開催した。	1	17
13	第11回桜バザー	令和4年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	ケアプラザとコミュニティハウスの共同開催。地域住民との交流を目的としたイベントの開催。	5:地域		地域住民の協力で不用品を集めてバザーを開催する令和5年3月に開催した。	1	203
14	ほっとフレンズ2022夏	平成20年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	① 普段は、学校と家庭の往復になりがちな障がい児に、「新たな出会いの場」「生活経験を拡大できる場」「充実したひと時を過ごせる活動の場」を提供する。 ② 障がい児を抱えた家族同士の交流を図る。	2:障害児・者		保土ヶ谷区フレンドサポート補助金を活用して春休みに、障がいを持っている子ども達が親子で一緒に楽しむ。7月にポッチャ大会を開催した。	1	10
15	ほっとフレンズ2022春	平成20年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	① 普段は、学校と家庭の往復になりがちな障がい児に、「新たな出会いの場」「生活経験を拡大できる場」「充実したひと時を過ごせる活動の場」を提供する。 ② 障がい児を抱えた家族同士の交流を図る。	2:障害児・者		保土ヶ谷区フレンドサポート補助金を活用して春休みに、障がいを持っている子ども達が親子で一緒に楽しむ。3月に開催をポッチャ大会を開催した。	1	12
16	ほどがや区民まつりの参加	平成20年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	区民が多数来場する「区民まつり」に区内全てのケアプラザの担当職員が参加することで、顔の見える関係づくりを図る。そして、ケアプラザが地域住民にとって身近で気軽に相談・活動できる施設であることを理解していただき今後の福祉保健活動へとつなげる。	5:地域		福祉保健センター1区分を使用し、ケアプラザの周知を行う。10月に開催し参加した。	1	400

<b>■ 事業</b> 1：地域活動交流事業    2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業    4：共催（1と2）    5：共催（1と3） 6：共催（2と3）    7：共催（1と2と3）		<b>■ 事業の性質</b> 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業		<b>■ 主な対象者、従たる対象者</b> 1：高齢者    2：障害児・者    3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年    5：地域    6：事業者 7：その他		
---	--	---	--	--	--	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
17	無料食品配布会	令和2年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	新型コロナウイルスの影響下でも可能な地域支援として、食品ロス兼ねて地域住民向けに食支援を行う。	5:地域		フードバンクかながわなどから提供を受けて、賞味期限近の食品や日用品を4・5点まとめて、地域の方々へ無料で配布する。地域活動支援「陶」による手作り革製品や陶器などの販売会も同時に行う4月・6月・8月・10月・12月・2月に開催した。	6	520
18	ときわ図書	令和4年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	ケアプラザの情報ラウンジに図書コーナーを設けることで、読書を気軽に楽しんでいただく事ができ、事業に参加していない方でもケアプラザを知ってもらえるきっかけとなる。	5:地域		貸出し図書を利用して、読み終わった読書感想を指定の用紙に書いていただいて、次に借りる方の参考にしてもらう。	353	92
19	貸室お掃除大作戦	令和2年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	団体登録をされている利用者とケアプラザ職員と一緒に貸室の掃除をしてもらう事で交流を図る。	5:地域		各団体の方々に利用している協力してもらい貸室の掃除を12月にお願いした。	13	120
20	歌声サロン	平成24年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	地域の中高年を対象に開催。地域住民同士の交流を図りながら、歌う事で心身の健康維持にもつなげていく。	5:地域		感染予防を図りながら、昔なつかしい・思い出の歌をピアノの伴奏で歌う。原則毎月第1火曜日に開催した。	9	159
21	ときわの森セタコンサート	平成23年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	近隣の大学の吹奏学部がケアプラザで演奏会を開くことと地域と音楽を通じて交流を図る。	5:地域		横浜国立大学吹奏楽団の演奏を地域住民に披露する。小編成の生演奏とライブ映像を楽しむ ・7月9日に開催した。	1	31
22	ときわカフェ+オレンジ	平成28年	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	認知症の人と家族支援に向けた取り組みで「認知症カフェ」とする。カフェに参加して楽しんでもらい、専門職が交わり交流しご本人やご家族の悩みなども聞くことができるなど、地域で支え合う仕組み作りを目指す。	5:地域		認知症当事者の方もそうでない方も、誰もが参加でき集うカフェを開催する。ボランティアによる飲み物を提供しゆっくりと和む時間と交流できる場所を提供する。ときわカフェと共に偶数月、第4金曜日に実施。	6	92
23	終活講座	平成22年	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	相続・介護・遺言・成年後見をテーマにして講座を行い地域住民の権利擁護の意識を高めることで自己実現が図れる事を目的とする。	5:地域		コロナ禍の状況を見ながら秋に成年後見つばさ事務所の協力を得て担当地区とそこで活動するケアマネジャー対象に「地域で考える介護と相続」セミナー実施予定していたが実施できなかった。	0	0
24	ときわ・介護者のつどい「ゆうづる」	平成22年	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	認知症の方を介護されている家族を対象に、定期的な意見交換などの交流やリフレッシュの場を設けることにより介護の抱え込みや介護負担の軽減が図れることを目的とする。	5:地域		懇談会は奇数月第4木曜日開催。介護者同士の意見交換を行ってリフレッシュしていただき、介護負担軽減や抱え込み防止を図れるようにする。参加者希望で勉強会、施設見学を行った。	6	40
25	出張講座	令和元年	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	自治会主催の定例会などにエンディングノートの周知や健康講座など行い地域住民の方が自分の人生を自分らしく生きる為に元気に過ごしていただく提案をすること目的とする。	5:地域		エリアごとに自治会に出向いて「エンディングノート」「健康」「介護保険の説明」などの自治会希望のテーマで講座を開催した。	2	52
26	ときめイト連絡会	平成28年	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	認知症について正しく理解してもらい、認知症の人や家族を見守ることが出来る方を増やす事で認知症サポーター養成講座にキャラバンメイトとして携わってもらう事を目的とする。	5:地域		認知症サポーター養成講座を開催するに当たって、キャラバンメイトとして連絡会に参加してもらい情報交換を行う。チームオレンジの事業に協力してもらった。	3	13
27	認知症サポーター養成講座	平成21年	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	認知症について正しく理解して認知症の人や家族を温かく見守ることができる力を身につけてもらう。家族や周りの人が認知症になっても安心して暮らせる地域を作っていくことを目標とする。	5:地域		可能であればキャラバンメイトさんに参加してもらい認知症サポーター養成講座を行う。地域の自治会、小学校、中学校の依頼により開催した。	3	367
28	ピーポーワン	平成27年	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	地域包括ケアシステムの中で地域の方がお互いに見守り支えあうネットワークづくりを目指し、愛犬のお散歩のとき見守りボランティアをしていただく。	5:地域		ボランティア登録者に毎日お散歩のとき、利用していただく散歩バックをプレゼントし、緊急時にケアプラザへ連絡いただくシステム。登録会はコロナ感染状況を見て青空の下公園等で開催した。	0	0
29	ピーポーワン・ママ	令和2年	7:共催（1と2と3）	1:優先的に取り組み	地域包括ケアシステムの中で地域の方がお互いに見守り支えあうネットワークづくりを目指し、子育て中のママにも地域の見守りボランティアに参加していただく。	5:地域		ボランティア登録者にお出かけのときに利用していただく外出バックをプレゼントし、緊急時にケアプラザへ連絡いただく。また、当事業の広報もかねてケアプラザイベント開催時など周知し参加していただいた。	2	17
30	チームオレンジ	令和4年	2:地域包括支援センター運営事業	2:発展させるねらい	認知症の人が役割を持って参加しやすい環境や見守りサポート体制を作りさらには地域に広く認知症に関する理解を広げ認知症の人が自分らしく過ごせる地域作りを進める取り組みを行う。	5:地域		「認知症になって過ごせる温かく安心できる地域作り」をテーマに高齢化率の高い峰沢団地とその周辺の住民対象にリーダーのステップアップ研修やオレンジカフェの開催、多世代交流の事業を一年間を通じて実施した。	10	177
31	サロン ドウ きらめき	令和4年	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	介護予防を目的としたオリジナル体操をつくり、多世代に対して普及・啓発を行う。	1:高齢者		手芸や脳トレ、体操、消費者被害防止など、参加者と相談しながら内容を決めて包括職員と一緒に行う。年に数回、イベント的な要素も盛り込む。6/14～第2、第4火曜日開催した。	17	66
32	きらきら長寿ときめき塾	令和4年	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	高齢者が住み慣れた地域で元気で活動的な生活を送り続けるために、生活習慣の改善を見直す機会を提供し、自己実施できることを目標とする。	1:高齢者		介護予防のための運動、口腔、栄養の講座を開催し、生活習慣改善に自ら取り組めるよう普及啓発を行う。全4回。11月～12月実施した。	3	47
33	ゆるのび運動	令和2年	6:共催（2と3）	1:優先的に取り組み	健康の維持・増進のために効果的な運動をグループで継続することで、高齢者が張り合いを持ちながら運動を続けられることを目標とする。また、地域の受け皿としての機能も持たせる。	1:高齢者		グループメンバーが楽しみながら運動を実施できるよう支援を行う。毎月第2、第4木曜日実施した。	12	40

<b>■ 事業</b> 1：地域活動交流事業      2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業    4：共催（1と2）      5：共催（1と3） 6：共催（2と3）      7：共催（1と2と3）	<b>■ 事業の性質</b> 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業	<b>■ 主な対象者、従たる対象者</b> 1：高齢者      2：障害児・者      3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年    5：地域      6：事業者 7：その他
---	---	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
34	きらきら長寿ときめき塾inたまり場	令和4年	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	高齢者が住み慣れた地域で元気で活動的な生活を送り続けるために、生活習慣の改善を見直す機会を提供し、自己実施できることを目標とする。	1:高齢者		生活習慣改善や介護予防の知識を得て、生活の中で実践できることを目的とする。また、自分の健康に関心を持つことで、地域での健康づくりに取り組むきっかけとする。ケアプラザに来ることが難しい地域をターゲットに5月～7月の第4日曜日に開催(全3回)した。	3	73
35	ノルディックウォーキングin新横浜公園	平成23年	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	地域の高齢者がいつまでも元気に楽しく歩けるよう、ノルディックウォーキングを通して継続的に運動に取り組むための支援を行う。また、隣接する神奈川区との交流を図る。	1:高齢者		講師の指導のもと、新横浜公園周辺を楽しみながらウォーキングする。また、神奈川県若竹苑と菅田地域ケアプラザのグループとの交流の場とする。雨天の場合は屋根のあるエリアで実施した。	1	8
36	Let's フラ♪	令和3年	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	フラを通してロコモ予防、認知症予防に取り組む機会とする。また健康づくりに取り組むきっかけとする。	1:高齢者		講師に学びながら、フラを行う。グループの自主化を目指して支援する。R.4年4月20日～R.5年3月15日、第3水曜日開催予定→講師の都合により5月18日から開始した。	11	106
37	シャキトレ!	令和3年	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	ロコモ予防の運動を学び、自宅でも健康づくりに取り組むことができる。	1:高齢者		生活に取り入れられるロコモ予防の運動を講師から学ぶ。グループの自主化を目指して支援を行った。R.4年4月7日～R.5年3月2日、第1木曜日(5/5、11/3を除く)開催した。	10	145
38	男性かがやき塾～コーヒー編～	平成30年	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	男性の社会参加、居場所づくりをねらいとする。地域向けやイベント等担い手として活躍の場を広げていくような投げかけを行い、発掘支援していく。	1:高齢者		シニア男性、またはご夫婦を対象に月1回開催。コーヒーの淹れ方や選び方、その他実践方法を学び技術を身につける。参加が主体的に活動を行えるように支援した。毎月第2水曜日15時～。	9	64
39	喫茶ときわだい青空体操クラス	令和3年	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	コロナ禍で自宅に引きこもりがちな高齢者向けに外出の機会を作り、屋外で介護予防の啓発、意識づけを行う。また活躍の場が減少したボランティアが活躍できる機会づくり。	1:高齢者		保健師より介護予防体操の紹介を行い、シニア男性ボランティア男性かがやき塾で身につけた技術を活かし、ドリッコーヒーを地域住民に提供する。感染症対策のため、屋外で開催した。	1	20
40	ときわ体操をつくる	令和3年	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	介護予防を目的としたオリジナル体操をつくり、次年度以降、多世代に対して普及・啓発を行う。	7:その他		かながわ健康財団の講師とともに、介護予防を目的とした常盤台地域ケアプラザのオリジナル体操をつくる。また、DVDを作成して、次年度以降はケアプラザや地域会場での普及・啓発を行う。	0	0
41	スクエアステップリーダー・フォローアップ講座	平成30年	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	地域で活動しているスクエアステップグループのリーダーを対象として、スキルの向上とグループ活動の活性化及び継続支援を目的とする。	1:高齢者		講師からスクエアステップの楽しさを学ぶと共に、グループに生かす方法やリーダーの役割をご指導いただいた。また、グループリーダー同士の交流の場として活用する。	1	16
42	地域活動グループリーダー連絡会	平成28年	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	きらり☆シニア塾や地域のサロン等で活躍されている、ボランティアリーダーに対するフォローアップ。	1:高齢者		運動系のグループにはPTより講義や実践を、サロンなどのリーダーにはSTよりコミュニケーションに関する内容を講義していただき、グループの活性化を図った。9月～11月頃開催。	2	23
43	楽しくコグニサイズ	令和2年	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	地域のサロンや活動グループ支援、介護予防として楽しみながら健康づくりや仲間づくりができるよう、コグニサイズの普及・啓発を行う。また、地域活動の担い手候補の発掘も目的とする。	1:高齢者		かながわ健康財団のコグニサイズ講師派遣事業を活用し、地域の高齢者を対象にコグニサイズの普及・啓発を行う。令和5年1月～2月開催。	2	42
44	尿漏れ講座(仮称)→トイレを気にせず外出しよう予防編	令和4年	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	尿漏れについて学び、予防や改善の方法を知ること、積極的に外出や活動ができるようになることを目的とする。日常生活の活動性を上げ、ロコモ予防につなげる。	1:高齢者		排泄の専門看護師より尿漏れの機序等を学び、かながわ健康財団の講師より尿漏れ予防・改善のための運動等の指導を受けた。12/8開催。	1	31
45	ワークショップ	令和4年	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	老後も安心して住み続けられるまちづくりに向けた地域住民主体のワークショップ。	5:地域		横浜国立大学建築計画研究室の学生によるテーマの投げかけにより、地域住民と学生が話し合い、具体的な内容の検討をし理解を深めた。今年度では「とどまりたい場所づくり」をテーマに、羽沢・常盤台地区にあつたら良いと思うイスづくりを行った。5月、7月、8月、9月に実施した。11月、2月開催。	6	257
46	「よこはまシニアボランティアポイント」登録研修会	平成29年	4:共催(1と2)	1:優先的に取り組み	ボランティアに気軽に参加できるきっかけづくり、及び新たな担い手の発掘育成を目的として開催する。またボランティア活動を通じた高齢者社会参加、生き甲斐づくりも目的とする。	1:高齢者		ケアプラザ職員が講師として、よこはまシニアボランティアポイントの登録研修会を開催する。ボランティアポイント事業の概要、ボランティアの基礎知識及び留意点等を説明する。新型コロナウイルス感染症の影響により開催できなかった。	0	0
47	アーティフィシャルフラワーアレンジメント	令和3年	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	地域住民に改めてケアプラザを知ってもらう機会とする。また、共催することで多世代交流の場とする。高齢者に対しては五感をを使うことで認知症予防も目的とする。	5:地域		講師より、アーティフィシャルフラワーアレンジメントを指導いただいた。第1回10月20日は、クリスマスイメージしたスワッグ型のフラワーを作成。第2回目12月9日は、しめ縄飾りを作成した。	2	30
48	健康講座～生活習慣病予防シリーズ～	令和4年	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	3回シリーズで地域住民に生活習慣病について学んでもらい、予防に取り組むきっかけとする。また、いざという時に相談できる場所が身近にあることを知っていただく。	5:地域		地域の診療所の医師より、生活習慣病の予防と改善方法を中心に講義していただいた。令和4年9月7日「高血圧」、11月2日「高脂血症」、令和5年2月1日実施した。	3	95
49	スマートフォン講座	令和4年	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	スマートフォンをうまく使いこなせるようになることで、住民同士のつながり・交流の機会を増進させる。スマートフォンを活用したコロナワキチンの予約方法や自主的な介護予防の知識を習得するための機会とする。	5:地域		スマートフォンの注意点・基本的な操作方法、日常で使える機能・アプリ等を学ぶ。4月11日開催した。	1	20
50	区内合同認知症サポーター養成講座	令和3年	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	区域の事業所を対象に講座を実施することで認知症の人とその家族が暮らしやすい街づくりを推進する。	6:事業者		イオン保土ヶ谷店の従業員向けに保土ヶ谷公会堂で午前・午後に分けてサポーター養成講座を開講。認知症の理解と区や包括の取り組み認知症の方への対応方法を区役所認知症部会を中心に9月26日講座を開催(午前261名午後177名)した。	3	450



<b>■ 事業</b> 1：地域活動交流事業    2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業    4：共催（1と2）    5：共催（1と3） 6：共催（2と3）    7：共催（1と2と3）			<b>■ 事業の性質</b> 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業		<b>■ 主な対象者、従たる対象者</b> 1：高齢者    2：障害児・者    3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年    5：地域    6：事業者 7：その他		
---	--	--	---	--	--	--	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
51	喫茶ときわだい	令和4年	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	男性かがやき塾～コーヒー編～のメンバーが、地域向けにコーヒーを淹れる場を設けることで、担い手の育成を行う。達成感や楽しさ、やりがいを感じることで、今後の自主的な活動への意欲を高めることを目的とする。	5:地域		男性かがやき塾～コーヒー編～のメンバーが、学んだ技術を活かし、地域の方にハンドドリップコーヒーを提供した。	1	28
52	めざせ！美しい姿勢と笑顔で10歳若見え	令和4年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	マスク生活で衰えた表情筋を鍛える方法を知り、口腔機能のアップも目指す。また、美しい姿勢(正しい姿勢)を学び、体幹を意識することで筋力の維持向上や転倒予防、日常生活活動をスムーズにする効果も期待する。	5:地域		講師より、表情筋のトレーニング方法や美しい姿勢の保ち方等をご指導いただいた。	1	31
53	春のフラワーアレンジメント	令和4年	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	普段ケアプラザを利用していない地域住民にもケアプラザを知ってもらう機会とし、共催することで多世代交流の場とする。高齢者に対しては五感や手先を使うことで認知症予防も行う。	5:地域		講師より、生花を使用したフラワーアレンジメントを指導いただく。また、包括職員より認知症予防について説明し、わがまち保土ヶ谷体操を行った。	1	12
54	出張コーヒー隊	平成30年	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	地域向けにコーヒーを淹れる実践の場を設けることで担い手育成を行う。達成感や楽しさを味わうことにより、今後の自主的な活動への意欲を高めていくことを目的とする。	5:地域		男性かがやき塾～コーヒー編～でドリップコーヒーの淹れ方を学んだシニア男性が、地域向けにコーヒーの提供を行う。実践編としてケアプラザ外の自治会館での食事会にて開催した(3月27日)。	1	20
55	ときわ体操DVD撮影	令和4年	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	地域活動グループが利用できるよう、介護予防や認知症予防を目的とした体操のDVDを作成し、普及・啓発を行う。	5:地域		かながわ健康財団の講師に地域が主体できる体操や運動のDVD撮影を依頼。来年度、地域活動グループやケアプラザで活用する。配布も検討していく。	1	4